

アイメイトと共に

盲導犬が日本に生まれた日

1948年、塩屋賢一（アイメイト協会創設者）は盲導犬の育成を志し、目隠しの生活を体験しながら盲導犬の育成方法を模索し始めました。そして1957年、国産第一号の盲導犬チャンピイが誕生しました。

写真は東京・吉祥寺で歩行訓練をする塩屋賢一とチャンピイ。塩屋はアイマスクがわりに墨塗りのパイロット用ゴーグルをつけています。



誕生



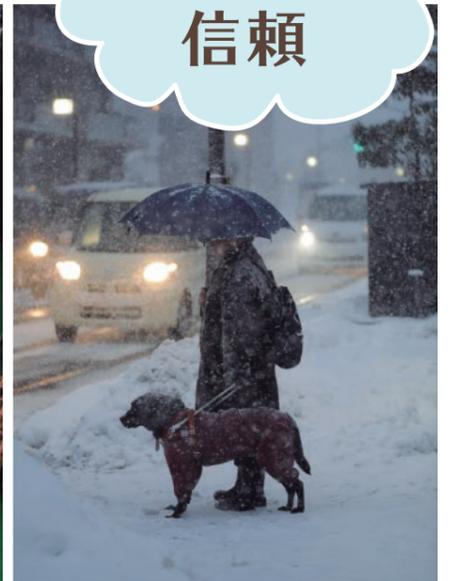
素質に恵まれた両親を選んで、計画的に繁殖。そのため、生まれた仔犬の多くはアイメイトとして活躍しています。アイメイトに向く素質としては、まじめでかげひなたなく、穏やかなことです。

健康管理



毎日、指導員が犬舎の犬をグランドに出し、排泄をさせます。犬の健康状態をよく観察して管理に役立てます。

信頼



いつもの道でも雪が降ると状況が一転。目安の段差が探せなかったり、音が雪に吸収されて距離感がくるったり。そんな時、アイメイトは信頼されている幸せを感じ、それに応えます。

アイメイト(盲導犬)達はナチュラルハーベストの「メンテナンス」を20年間愛用しています。

平成 29年 10月 1日

VANGUARD
INTERNATIONAL FOODS
株式会社バンガードインターナショナルフーズ



公益財団法人
アイメイト協会
since 1957



アイメイト協会 理事長
塩屋 隆男